

令和7年度 第2回学校運営協議会

○11月11日（火）15：00～16：50 場所：校長室

出席者 協議委員：平井 三浦 中川 若林

事務局：大石 山下 中田 荒木 中川

次 第

1 校長挨拶

- ・部活動の活躍について

硬式野球部が大阪の21世紀枠推薦校になった。公立高校として文武両道の取り組みが評価されている。その他、陸上、水泳、写真、書道、ダンス部、硬式テニス部なども全国や近畿大会で成果を上げている。

- ・SSHについて

今年度は経過措置という厳しい結果となり、来年度の第Ⅳ期指定（5年間）の再獲得に向けて計画書を作成中である。文部科学省の方針として自走化に向けた独自予算の獲得も求められているが、第Ⅳ期の指定獲得をめざす。

2 協議

（1）授業見学について

- ・委員より

授業見学について、ペアワーク等のアウトプットの時間を取っている印象を受けた。また、授業見学週間において、他校（公立・私立中高）からの見学者を受け入れたことは良い取り組みである。

（2）令和8年度学校経営計画及び令和7年度学校評価報告書について

- ・学習面

国公立大学進学をベースに授業を展開。1年生は中学生気分が抜けきらない面もあるが、ここからの伸びに期待している。

- ・行事・生活

体育祭・文化祭は生徒主体の運営で満足度が高い。遅刻・欠席については精神的な課題を抱える生徒への対応も含め、家庭と連携しつつ指導している。

- ・働き方改革

「教員の在校等時間」削減が課題。月80時間、年360時間等の目標があるが、1,000時間を超える教員もいる。部活動や生徒指導への使命感（不本意な労働ではない側面）と、教育庁からの時短要請との板挟みになっている。時差出勤（ズレ勤）や業務の洗い直し等の工夫を行っている

る。

- ・ 質疑応答、ご意見

◇働き方改革について、管理職以外の第三者によるヒアリング等の仕組みはあるか。

→年間の目標設定面談や人事面談を通じて聞き取りを行っている。突発的な対応が必要な場合は、ズレ勤の活用などを促している。

◇授業見学について、「楽しい」だけでなく「将来に役立つ」というメッセージを授業で伝える工夫はどうか。

→教員は、授業がどこに繋がるのか、また、勉強する姿勢についてもしっかりと指導している。

評価指標は府の統一設問があるため変更は難しいが、独自アンケート等での検討は行いたい。

◇広報活動について、ホームページ等で現在の生徒の活躍（部活や SSH の受賞など）をもっと視覚的に（動画や写真で）アピールすべきではないか。中学生は文字より映像に反応する。

→校長ブログ等で発信はしているが、更新の手間やシステム上の制約があり課題である。将来委員会で検討中。

（２）GLHS、SSHの取組について

- ・ GLHS

勉強時間等の数値目標はあるが、GLHS 評価委員からは「内発的な動機づけ」への転換を求められている。「やらされる勉強」から「自学自習」への移行が課題。

- ・ SSH

次期申請に向け、地域（松原市）との連携を強化。「地域科学技術人材の育成」をテーマに、小中学校との連携や地域課題への貢献を打ち出す計画である。

- ・ 質疑応答、ご意見

◇キャリア教育について、卒業生（社会人）がどのように進路を選び活躍しているかというロールモデルを提示することが、数値以上に生徒の自己肯定感やモチベーション向上に重要である。

◇SSH の課題設定において、地域（松原市）の課題解決に高校生がコミットすることで、地域貢献とグローバルな視点の双方を意識させることができるのではないかと。

→すでに小学校への出前授業や、松原市の政策（ウェルビーイング等）への探究活動での参加を模索・実施し始めている。

（３）授業アンケートについて

- ・ 学年別

３年生は全項目で向上し、満足度・理解度が高い。一方、１年生は予習復習や授業分析等の項目で低下傾向にあり、学習習慣の定着支援が必要。

- 教科別

英語科は全項目で 90%以上の肯定的回答を得ており非常に安定している。数学は「生徒理解」が大幅に向上したが、「授業展開（生徒が考える機会）」はやや低下。国語や理科では一部課題が見られる。

- 質疑応答、ご意見

◇1年生の評価が低い原因と、英語科の好事例を他教科にどう汎用化できるか。

→1年生は要望も含め記述が多く、定着までの過渡期と見ている。英語科の取り組み（GLHS10校での研修等）を参考にしつつ、教科の特性に合わせて全校で共有・改善を図る。

◇授業の最後に「今日何をつかんだか」をアウトプットし振り返る時間を設けることは、定着に非常に有効であるため、全校で共有してほしい。

◇地域の小中学校や私立学校向けの公開授業の案内を、協議会委員にも送付してほしい。SSH等の行事だけでなく、日常の授業を見ることで学校理解が深まる。

3 事務連絡

- 次回予定について

例年は2月中旬頃に実施している。改めて後日メールにて調整させていただく。